

海岸の仕事ってどんなこと？

胆振海岸は、北海道南西部（苫小牧市～白老町）に位置し、背後に重要交通網（国道36号、JR室蘭本線）が隣接するとともに、それらに面して住宅が密集しています。

昭和40年代に入り、海岸侵食や越波による護岸の倒壊、住宅への被害が多発したことから、北海道開発局は昭和63年度に直轄海岸保全施設整備事業に着手し、海岸侵食対策及び越波対策を進めてきました。

現在は、主に人工リーフの整備を進めています。



胆振海岸（人工リーフと白老町市街地）

防護機能の向上



緩傾斜護岸（手前）を整備することで波の打ち上げが低くなりました。（※奥は従来の直立護岸）

利用面の向上



緩傾斜護岸は、波打ち際に近づきやすい環境を作り出し、地域に暮らす人々が利用する光景が見られるようになりました。

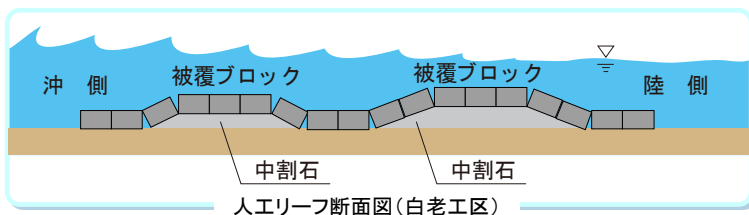
環境面の向上



人工リーフは、天然岩礁と類似する環境を有しており、コンブの繁茂、ウニ、ナマコ等が生息できる環境も創出されました。



工事の予定



人工リーフは、海岸に襲来する高波を沖合で弱め、海岸浸食や越波を低減させる施設です。近年、右の写真のように人工リーフ背後の海岸線に砂浜が再生していることが確認されています。



白老工区人工リーフによる砂浜の再生(左:着手前、右:整備後)